

浄土の教えは、如来の大悲が報身報土をとおして苦悩の衆生に語りかけ、衆生の苦悩に同心し、苦悩からの解放を呼びかけるものである。しかして「報」とは、衆生の生活実感に呼びかけるための形なのであろうと思う。大悲の願心が、五劫の思惟と兆載永劫の修行の功德を成就して、衆生を攝取する場を開く。

その場を「身・土」の形で教えようとする。それは、われら衆生が身土を感受して生きているからである。わが身があるところに、わが環境がある。環境に影響を受けつつ、環境にはたらきかけて、わが環境として生きていくのである。

一切の衆生をその状況や生きざまを問わず、

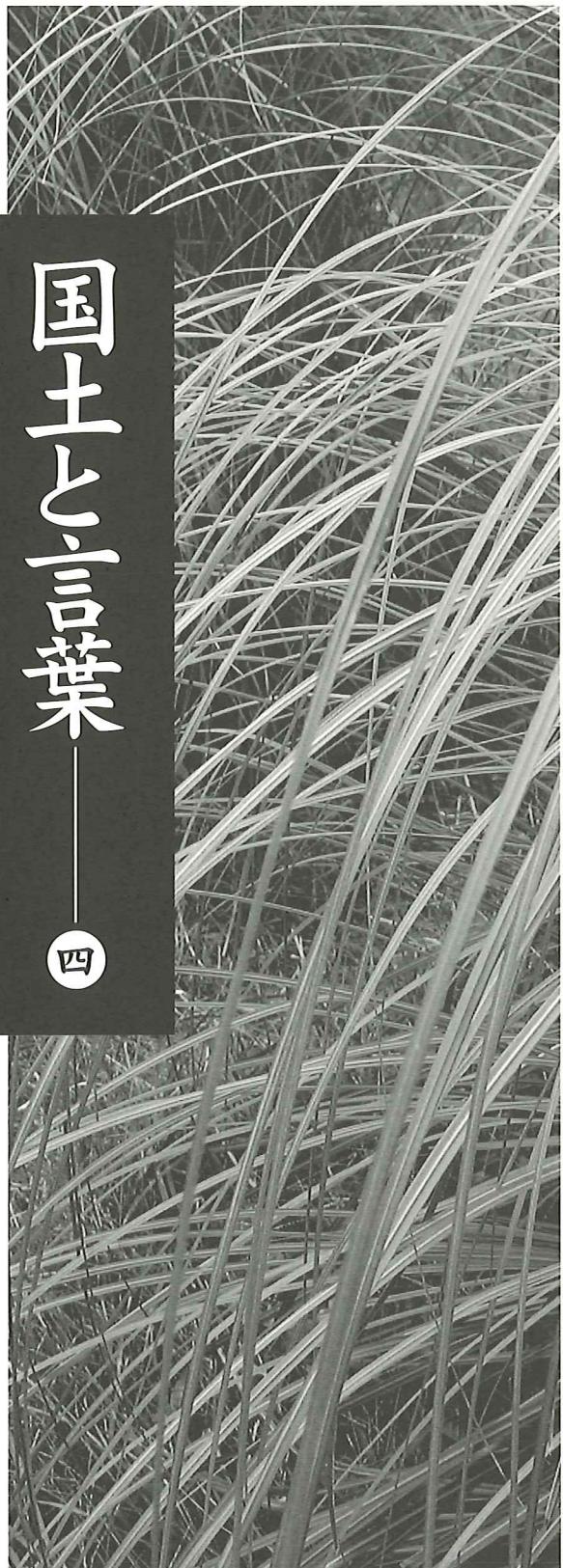
すべて済度するとはどういうことか。それは救いがたい罪業深重の身を救い取るというこ

とにおいて、すなわち救済の困難至極な存在をたすけることで、不可能はないという大慈悲を呼びかけることであろう。その大いなる慈悲のたゆむことなき歩みを、願心が「兆載永劫」に修行すると表現される。無限の時間

国土と言葉

四

honda hiroyuki



に倦怠することができないということである。有限の時間で完成することなど求めないということである。にもかかわらず、その願心が成就するという。そうでなければ、願成就の形たる「報身報土」を表現できない。無限に歩むということと、すでに成就しているということが両立することは、何を表すのであろうか。終わることを求める永劫の志願は、念々に完全なる成就を孕んでいるということであろう。つまり、無限の大悲は、未完成のままに満足しているということである。真実の願いはそれ自体に充足しているということである。終わることなき歩みに絶対満足するということである。慈悲の成就を願いつつ、苦悩の実存を生きる衆生を悲憫し続けて、歩みを止めないということなのである。

われら凡夫の願いは、その願いを成就しようととして努力するが、疲れ果てたり、成就できぬ壁にぶつかったり、挫折したりして、なかなか成就できない。しかし、成就しない間はともかく志願が継続する。そして、もしありして、それが成就するなら、喜びと共に、志願は終わりとなる。そこで願の意味がなくなる。状況に不条理を感じたり、矛盾を見たりして、それを変更しようとするわれらの願は、状況の変化と共に願の意味を失う。ところが、一切衆生に救済を呼びかける願心には、個別状況の変化での成就とは異質の

ことを呼びかけざるを得ない。どのような状況になつても、人間の絶対満足にはなり得ないからである。それではいかなる方向で、大悲を具體化しようとするのか。

報土を建設し、そこに一切の存在を平等に攝取して、願心のはたらきの中に包み込み、願そのものに同質化させて、みな阿弥陀と同等の存在に転成しようというのである。淨土に生まれるのは「蓮華化生」であるという。阿弥陀の正覚を華に喩えて、その華が開花するように淨土の生活を得るという。こちらで一声の念佛があると、あちらで一輪の蓮華が開花するとも言われている。濁世の生活と淨土の生活とは、まったく正反対のようだ。あるいは、まったく異質な内容なのであるが、それが相対しつつ接触する。「此を去りたまうこと遠からず」（『觀經』）とも言うが、「此を去ること十万億の刹なり」（『大經』）とも言う。この世の距離では測ることができないにもかかわらず、無限は有限を攝取せんとする。大悲が衆生を攝取せんば止まない。

そこで、報土の主たる報身が「わが名を念ぜよ」と願つて、名によって願の転移とでもいうべき事態を起こそうとする。『國土の名字、仏事をなす』（『淨土論註』）というが、報土の功德を報身の名によつて、異質の無限の隔たりを突破せんとするのである。尽十方無碍光の名告りで、光の功德を、名を憶念す

る衆生にもたらそとする。國土の事業を聞名によって伝達しようというのである。

願が名となつたとも言われる。本願や名号、名号や本願、ともいう。名となつた如来、ともいう。願を成就した名が、無限に止むことのない願を現に表現し続けている。願であることを失わずして成就している。成就した内実を名において伝達しつつ、無限に願であります。言葉は、いつたん表出されると、何かのイメージを生み出して、固定的で同質的なイメージを繰り返す。そのたびに異なることを指示したのでは、言葉にならない。だから、名になるということは、特定の形に自己を表現する、ということであろう。しかし、名になつていながら、無限にあらゆる衆生の苦境に対応して、はたらき続けようというのだから、名自身の意味に無限なる大悲を含有させていなければならない。それが仏土の主たる仏の名が、そのまま國土の功德のはたらきであるということではないか。

形になり得ない無限の願が、あえて國土の形に自己限定をして、その功德を、名号をとおして衆生にはたらきかけるとは、そういうことかと思うのである。